

**Q1.やっぱり作業療法士さんは男性が多いですか？どうしても力仕事のイメージですが。。男性担当、女性担当と別れている仕事はありますか？**

**(RN：石井町のあさひさん)**

A1.ありがとうございます。「作業」と言うことばだけ聞くと、力仕事をイメージする方も多いと思います。作業療法士の「作業」とは、食事をしたり、お風呂に入ったり、仕事や運動といった、人が生活するために必要な日常生活活動を「作業」と言います。作業療法士は病気やけが、障がいによってそれらの作業が難しくなった人に対して、体力や能力の維持、機能の改善を目指したリハビリを行います。

患者様の担当などに関しては、各施設や病院によって違いはあるかと思いますが、男性だからこれ！や女性のみ！と言った仕事内容は特にはありません。

日本作業療法士協会会員統計では、女性の割合が約 60%、男性の割合が 40%となっております。

**Q2.（ラジオ熟のフォーユーさんのページ読みました！緒方アナ最高ですね。）作業療法士さんには子どもも見てもらえるとのことですが、どのような症状のある子がいますか？また、何歳から何歳まで、見てもらえますか？**

**(RN： 鳴門市のポパイさん)**

A2.はい。子どもの分野といっても様々で、先天性や後天性の病気等により身体が不自由な小児のリハビリテーションもあれば、一見では分かりにくい、コミュニケーションや対人関係に問題をかかえる発達障がいに対する療育も行います。対象年齢ですが、0歳～関わる作業療法士もいます。